

Q 保健師の処遇とあり方

&

なぐもこ
南雲あや子(文責)



A 処遇改善に向け給料表の改正を行った



けんこつ体操教室

質問

湯沢町では2000年から介護予防事業に力を入れており、介護認定率は13.52%で新潟県では一番低い。このような実績を作ってきた保健師の役割は大きい。実績と仕事内容をどう評価しているのか。

答弁

多岐にわたり町民に寄り添い成果を上げているものと、高く評価している。湯沢町の保健師は、係長以上の職位に就いているものはいない。職員労働

質問

組合との交渉でも町長は、職位の必要性を検討するとしている。どのように検討して、今回の給料表改正に至ったのか。

答弁

医療職と行政職との給料等の差は認識している。担当部局と相談し、やる気を喚起できる職階にした。

質問

新しい級別職務分類表を運用し、さらに専門的知識を大いに発揮してもらい部長職などに道を開き元気な町に。

答弁

今回の改定で、課長職を設けた。部長職への処遇につなげていくことは今後の課題となる。

空き家等への対応状況と今後の対策

質問

現在、空き家は15349件とのこと。1, この調査は、どのような方法で行ったものか。また、苦情や相談はあるか。

2, 「空き家等の適正管理に関する条例」に定める危険家屋等の所有者に助言・指導・勧告を行った例はあるか。
3, 空き家対策としては、適正管理に関する条例によるものと空き家情報登録制度(空き家バンク)によるものがあるが、双方の関係と連携は。

答弁

1, 平成29年度に実態調査を業者委託し、その後の情報を加除した。苦情・相談は年数件ある
2, 助言・指導・勧告はない
3, 空き家対策は防災管財課、空き家バンクは企画観光課、実態調査を共有し連携している。

質問

危険家屋の解体は、特別措置法に基づく「空家等対策計画」を各自自治体が策定。それに基づいて行われている。湯沢町は、この計画が策定されていない。

答弁

また、空き家を撤去しやすいように独自の補助制度を作ってはどうか。
「空家等対策計画」は今年度中に作成する。独自の補助制度は危険を未然に防ぐ効果も期待できるので必要性を検討していく。

